がインターネット（SNS）で冬（11月～翌3
署は当初2桁ほ
17年度から急増
は最多の445
た。常勤ガイド
内が不足し、隣
援を得て現在10
イドを石下さん
いる。
たお客さんが興
夏に再来し「私
ていますか」と
られることもあ
もありがたいこ
抵は分からない
苦笑いしつつ、
ちリピーターに
感じている。
ナウイルスの影
を受ける観光だ
体験できる「密」
域が注目される
もある。もとも
を好む外国人向
の自然紀行番組
Hokkai
イルドほっかい
、昨秋に取材を

野鳥に魅せられ東へ

寄門員

さん（34）

受けた。放映はコロナ禍の今年にずれ込んだ。ちょうど漁期中だった野付湾のホッカイシマエビ漁も紹介された。6月にはNHKの情報番組「あさイチ」に中継で出演し夏の野付を伝えた。途中電波が途絶えるハプニングもあったが、「開放感のある野付の魅力は伝えられた」と振り返る。

秘境歩くツアー開発

10月には国有林「オンネニクル・ポンニクルの森」に入る新商品「ミステリーネイチャーツアー」をつくった。森林管理署から特別な許可を得て普段入ることができない秘境林内を歩くもので、タンチョウとオジロワシが営巣し子育てする3～7月を除き通年実施する。

石下さんは「特別なツアーをつくることができた。非日常の特別な時間を楽しんでもらえたら」と呼び掛けている。また自然と共生してきた人々を伝えるのもガイドの仕事だとし、「冬の厳しく荒涼とした寒さの中でたくましく生きる地元の人ともぜひ交流してほしい」と期待している。

（五味亜希子）

木村君 根室 最優秀

おさかなこども絵画コン審査会 全国から369点応募

根室

【根室】第2回おさかなこども絵画コンテスト審査会が22日、市総合文化会館で開かれた。全国から寄せられた作品は369点で、この日は1次審査を通過した9点を審査。最優秀賞には根室市の木村夢彦ちゃん（5）が選ばれた。

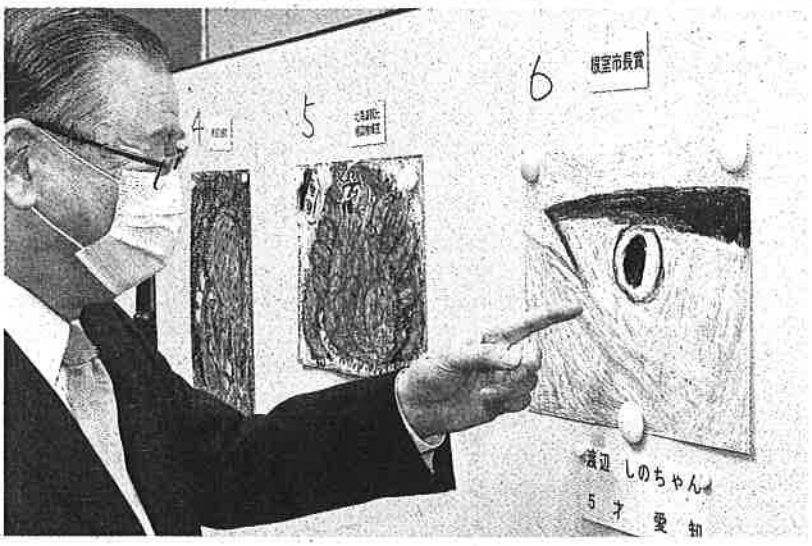
全国の小学校入学前の幼児から「大好きな根室とお魚さん」をテーマに募集しているコンテスト。東京都内で幼児教室など開いているアンテナ・プレスクール（石井至校長）が主催し、根室市が共催。全日空や釧路新聞社など7社・団体が協賛。協賛団体の代表が審査委員を努めた。

最優秀は花咲ガニを描いた木村君で、審査委員長の石井校長は「地元の子が触ると痛そうな躍動感を描いており、最優秀賞にふさわしい」と評した。市長賞にはサンマの顔のアップを描いた愛知県の渡辺紫乃ちゃん（5）。石垣雅敏市長は「こんなおいしそうなサンマを提供したいと思った」、釧路新聞社賞は東京都の窪野央貴ちゃん（6）。同社の星匠社長は「船が特徴的で、サンマとカニも描かれ、ザ根室という印象」と評した。

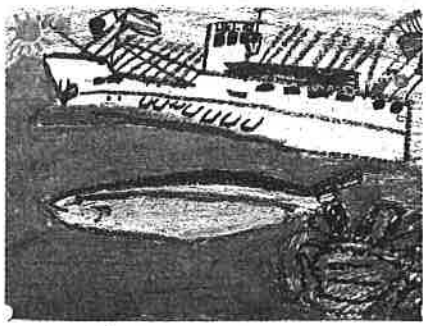
根室市内の応募者から選ばれるANA特別賞は、飯澤叶匁ちゃん（6）が描いたカニの絵で、ANAの井上慎一専務執行役員が「何のカニだろうと議論させる創造力が素晴らしい」と述べた。（山本繁寿）

他の賞は次の通り。

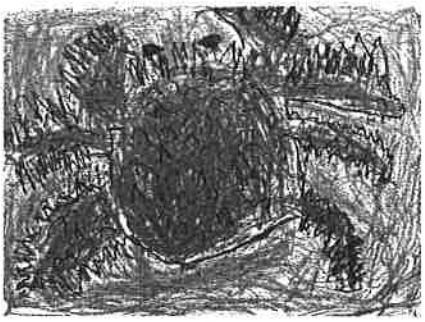
▽北海道観光振興機構賞　白谷敦志（愛知県）▽根室新聞社賞　田中優衣（同）▽北海道新聞社賞　齋藤理乃（東京都）▽根室交通賞　大谷陽葵（岐阜県）▽大地みらい信用金庫賞　松永壮市（札幌市）



市長賞作品に見入る石垣雅敏市長



釧路新聞賞を受賞した窪野央貴ちゃんの作品



最優秀賞を受賞した木村夢彦ちゃんの作品

首長の動静

【23日】

◇別海町長　▽午後1時　面会（町長室）▽同2時　同（同）

◇中標津町長　▽午前10時30分

12月23日（水）

釧路新聞